



2021年2月22日

各 位

会 社 名 株式会社テラプローブ  
代 表 者 代表執行役社長 横山 毅  
(コード番号：6627 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役CFO 地主 尚和  
(TEL 045-476-5711)

**<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について**

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時：2021年2月22日 10:00

開催方法：決算説明動画のオンデマンド配信

開催場所：<https://www.net-presentations.com/6627/20210217/>

説明会資料名：株式会社テラプローブ 決算説明資料 2020年12月期

**【添付資料】**

1. 投資説明会において使用した資料

以 上

# 株式会社テラプローブ 決算説明資料

**2020年12月期**

# 2020年12月期 業績説明

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、  
比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、  
原則として「-」と表示しています。

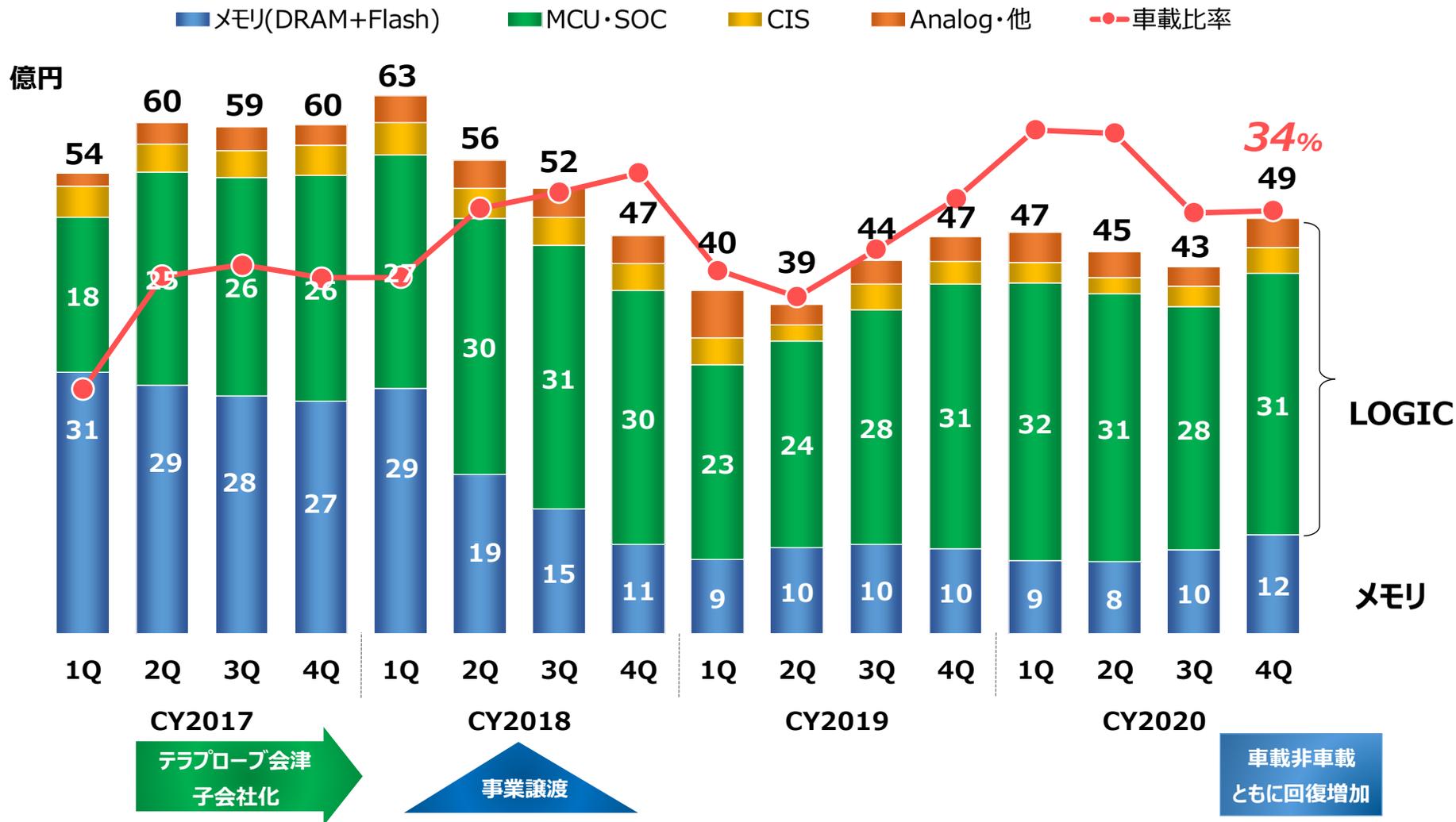
## 2020年12月期 業績サマリー

	億円	CY2020	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
		3Q	4Q	増減	%	累計	累計	増減	%
売上高		43.0	48.7	5.7	13%	169.1	183.4	14.3	8%
営業損益		△ 0.5	1.6	2.1	-	△ 1.1	4.3	5.4	-
		△ 1.2%	3.3%	4.5pt	-	△ 0.7%	2.3%	3.0pt	-
経常損益		△ 1.6	0.7	2.3	-	△ 3.9	1.6	5.6	-
		△ 3.8%	1.5%	5.3pt	-	△ 2.3%	0.9%	3.2pt	-
特別利益		4.3	1.8	△ 2.4	△57%	8.0	10.6	2.6	32%
特別損失		3.3	1.5	△ 1.8	△55%	3.4	4.8	1.4	41%
税金等調整前純損益		△ 0.6	1.1	1.7	-	0.7	7.4	6.7	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益		△ 1.7	1.2	2.8	-	△ 2.4	2.4	4.8	-
	US\$	106.84	105.16			109.29	107.24		
	NT\$	3.61	3.63			3.53	3.63		

- 売上高：QoQ増加（PTI※からの事業譲受に加え、車載向けLogic製品の受託量回復）
- 営業損益、経常損益、純損益：売上高の増加に伴い、QoQ改善し、いずれも黒字回復。
- YoYについても、売上が増加し、営業損益、経常利益、純損益ともに黒字回復。

※ Powertech Technology Inc.

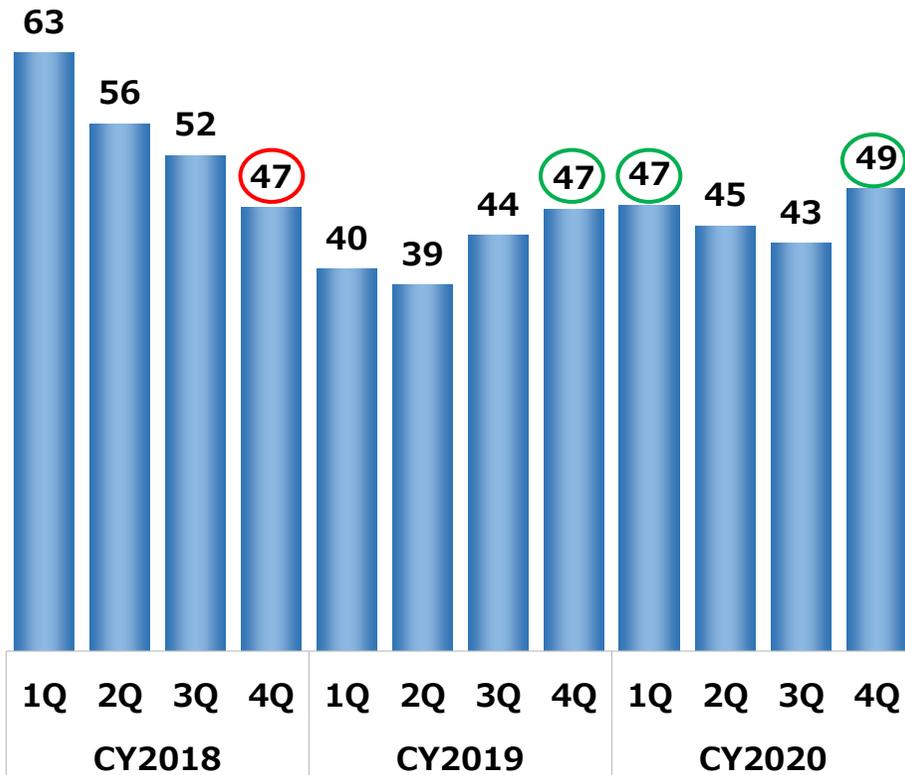
# 連結売上高推移（製品別）



# 連結売上高営業利益の推移

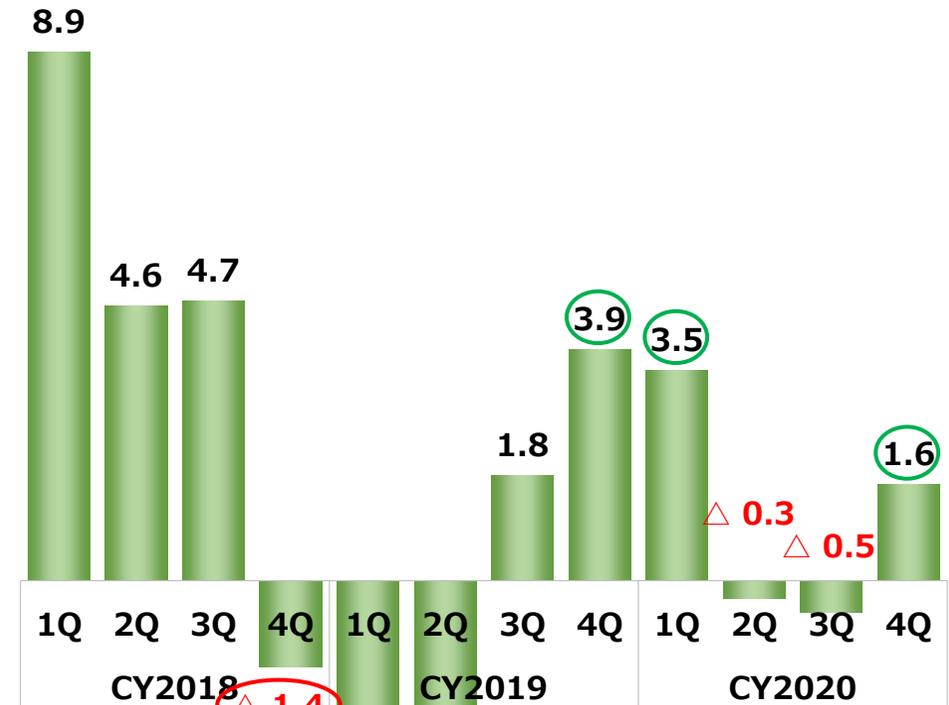
## 売上高

億円



## 営業利益

億円



- CY2019~: 同じ売上水準での採算化
  - CY2020 : 比較的浅い落ち込みと、早期回復
- 底堅い事業構造に

## 2020年12月期 キャッシュフロー-財政状態

### キャッシュフロー

	億円	CY2020	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
		7~9月	10~12月	増減	%		増減	%	
営業CF		25	23	△ 2	△7%	59	97	38	65%
投資CF		△ 11	△ 3	7	-	△ 48	△ 54	△ 6	-
FCF		14	19	6	41%	11	43	33	303%
財務CF		△ 13	△ 18	△ 4	-	△ 32	△ 30	2	-

### 主要B/S項目

	億円	CY2020	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
		9月	12月	増減	%		12月	12月	増減
現預金		109	111	2	2%	108	111	3	2%
有形固定資産		374	371	△ 3	△1%	387	371	△ 16	△4%
総資産		549	547	△ 2	△0%	569	547	△ 22	△4%
有利子負債*		209	194	△ 15	△7%	221	194	△ 28	△13%
純資産		307	310	4	1%	303	310	8	3%

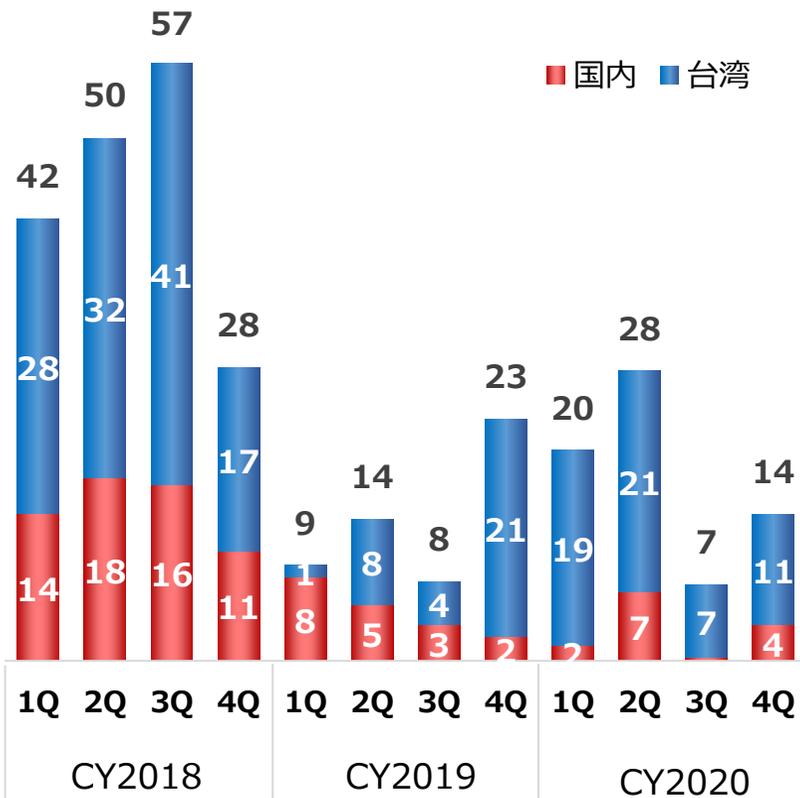
\*有利子負債 = 借入金 + リース債務

- FCFプラスを継続。また、前四半期末と同水準の現預金を維持。
- その他、自己資本比率等、安全性指標改善

# 設備投資及び減価償却

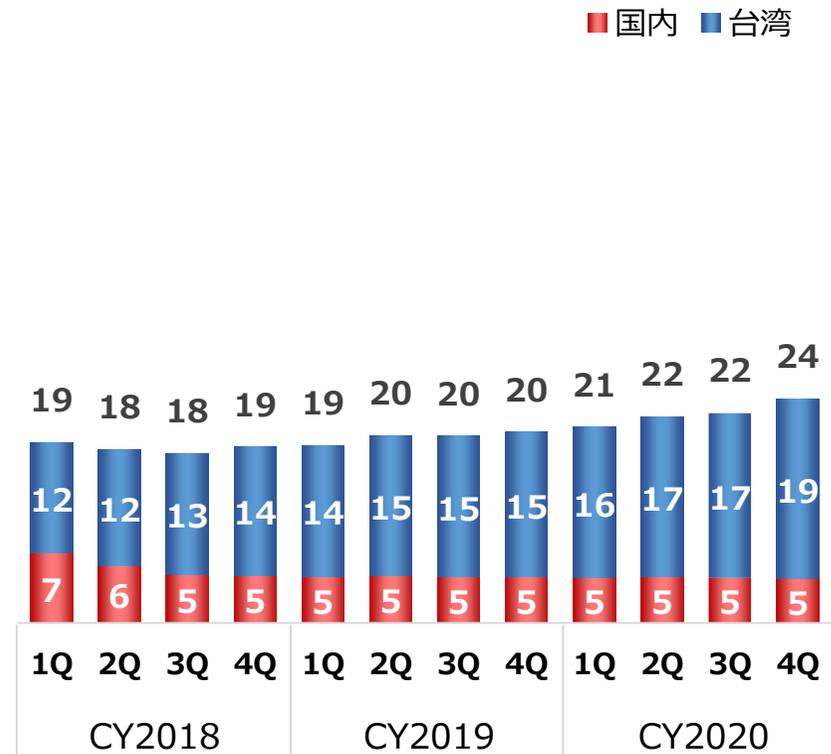
## 設備投資

億円



## 減価償却

億円



○ コロナ、貿易摩擦に対し、柔軟で適切な判断

→ 3Q以降の投資を抑制延期 (リードタイム: 3~5ヶ月)

# 2021年12月期 第1四半期

## 業績予想

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

## 2021年12月期 第1四半期 業績予想

	CY2020		CY2021		QoQ		CY2020		CY2021		YoY	
	億円	4Q	1Q	増減	%	1Q	1Q	増減	%			
売上高		48.7	53.3	4.6	10%	47.0	53.3	6.3	13%			
営業損益		1.6	5.6	4.0	248%	3.5	5.6	2.1	59%			
		3.3%	10.5%	7.2pt	-	7.5%	10.5%	3.0pt	-			
経常損益		0.7	5.1	4.4	608%	3.3	5.1	1.8	54%			
		1.5%	9.6%	8.1pt	-	7.0%	9.6%	2.6pt	-			
親会社株主に帰属する 四半期純損益		1.2	1.6	0.4	36%	1.7	1.6	△0.1	△7%			
	US\$	105.16	104.16			109.52	104.16					
	NT\$	3.63	3.63			3.62	3.63					

- 売上高: 車載向けLogic製品の回復等により、需要堅調  
CY2018の事業譲渡後、四半期で最大
- 営業利益、経常利益、純利益:  
売上高の増加に伴い、いずれも増加

# 2021年方針



# 2020年の振り返り

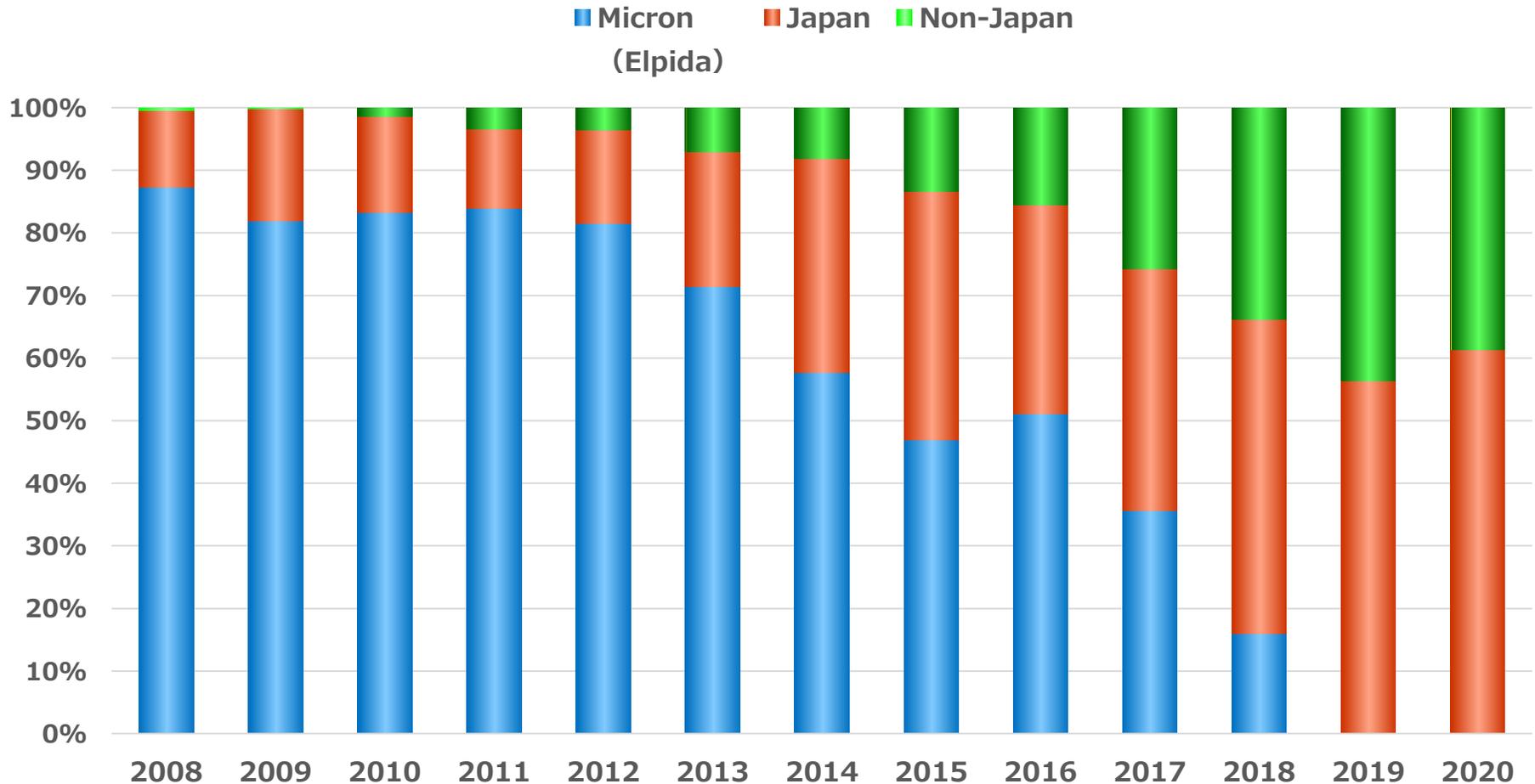
## 1. 方針と成果

方針		成果
① 売上拡大	お客様のグローバル化サポート ...	海外展開支援: 4社 グループターンキー量産受託: 6件
② 品質、技術レベルの更なる向上	PTIグループとしてのR&D活動推進 ...	R&D実績: 5件 センサテストの自社仕様開発 旧テストの機能拡張と、グループ活用
③ ミニマルオペレーションの継続	必要かつ適正な投資水準の見極め ...	コロナ禍、米中対立に柔軟に対応 スマートオペレーション導入 少人化ソフト導入

## 2. 事業の集中・集約

- ① PTIからのウエハテスト事業譲受
- ② テラプローブ会津の事業終了決定 (九州事業所への集約)

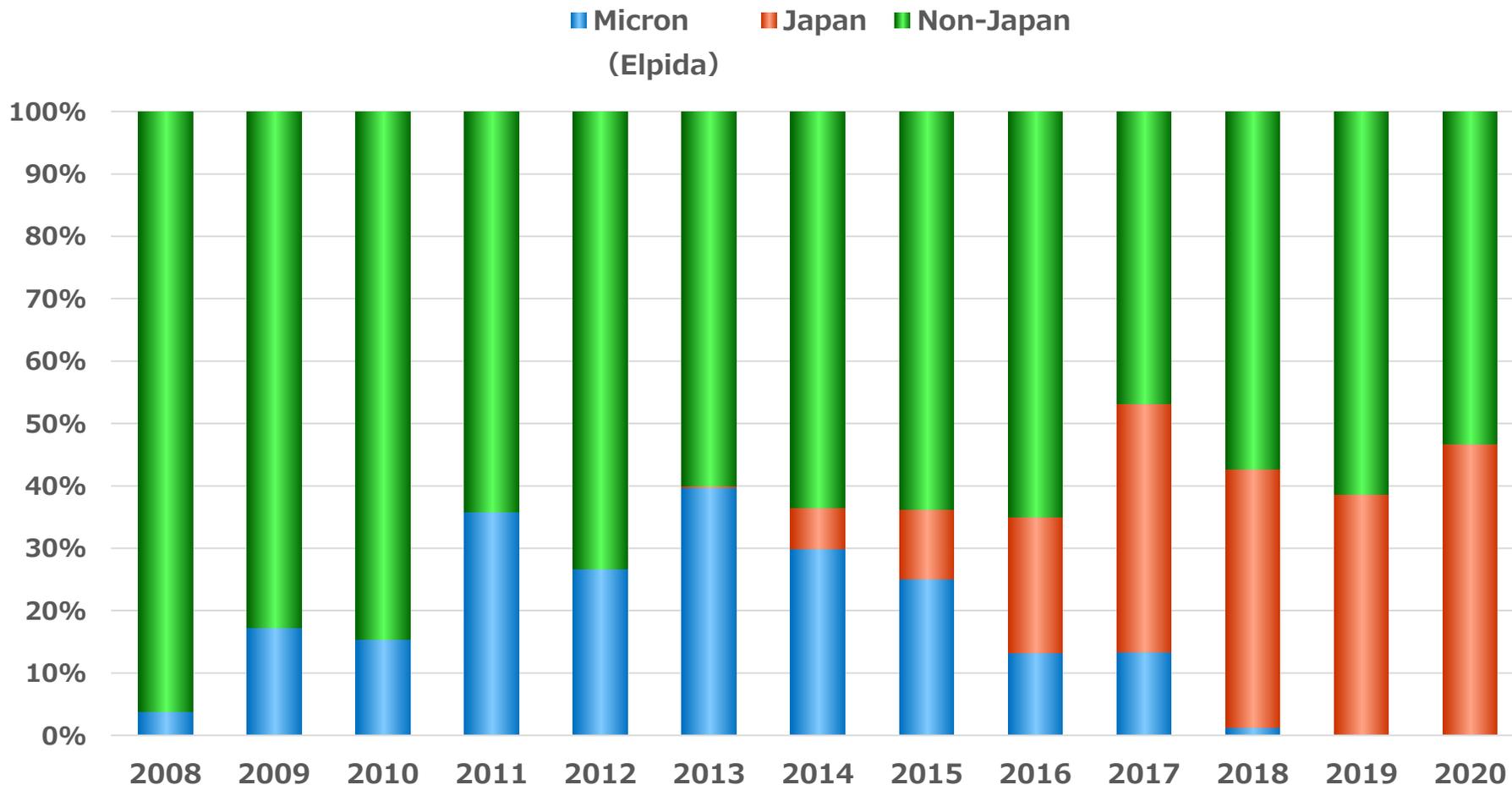
## 顧客国別 売上高構成比 (TPJ & TPA)



TPJ: テラプローブ

TPA: テラプローブ会津

## 顧客国別 売上高構成比 (TPW)



TPW: TeraPower Technology Inc.

## 2021年方針

### ① 売上拡大

お客様のグローバル化サポート、グループターンキー提案  
車載テスト比率の向上 中期目標: [日本]50% [台湾]40%  
データベースソリューションの構築と提案

### ② 品質、技術レベルの更なる向上

PTIグループとしてのR&D活動推進 (WT/FT)  
強み (量産ノウハウ、技術資産) を活かした開発活動推進

### ③ ミニマルオペレーションの継続

必要かつ適正な投資水準の見極め  
技術的なコスト低減アプローチの実行

## 本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ 財務部

TEL: 045-476-5711

E-mail: [ir@teraprobe.com](mailto:ir@teraprobe.com)

URL <https://www.teraprobe.com/>